

国際教養学部(英語) 問題解説

□■ 出題意図・評価方法・評価ポイント

- [I] ベトナム移民の子供である筆者が、米国の大学で英文学の古典を学ぶ上での葛藤と、様々なマイノリティ文学に触れることで、その問題を解決していった過程が書かれたエッセイです。文章の概要を的確に読み解く力を問うています。
- 内容説明問題では、1980年代終わりから1990年代に起こった文学論争の概要を理解できているか、またその中で英文学を学ぶ筆者の、非白人の移民2世としての特殊な立場と心情を的確に捉えられているかを確認する問題を出題しています。本文から抜き出す問題では、アジア系移民の子供が学校でどのように認識されていたのか、またマイノリティ文学の例を的確に把握することを求めています。
- [II] スペインの首都マドリード郊外で発生したリーシュマニア症の大規模感染の調査に関する雑誌記事です。その感染症が当初考えられていたものとは違う経路で拡大したこと、また感染の間接的・直接的原因を的確に把握しているかを確認する問題を出題しています。
- 英訳問題では比較構文および関係代名詞節を用いて、正確に英語で表現する能力を求めています。内容説明問題では、基本的な構文理解を確認するとともに、感染が拡大した経緯を正確に把握できているかを問うています。本文から抜き出す問題では、文章の論理を把握し、異なる専門分野の研究者がどのように感染拡大の原因究明に貢献したかの理解を求めています。和訳の問題は、移民が感染流行時に不当に批判されがちなことを理解し、構文を把握し、明確な日本語に訳すものです。
- [III] ニューヨークなどで推し進められている高度情報都市化に関する雑誌記事です。その問題点と解決策として提案されていることがらを読み取り、文章の論理を的確に把握しているかを問うています。
- 内容説明の問題では、通常都会での行動が持つ匿名性、および街頭に設置された情報端末の機能を的確に捉えられているか、また文章のつながりを理解し、都市の高度情報化の民主化を試みる実例を正確に理解することを求めています。英訳問題は、節の構文および複文構造という英語の基本的な知識を実際に使えるかを試す問題です。本文から抜き出す問題では、高度情報化による弊害の具体例を的確に把握することを求めています。和訳問題では、企業が都市の高度情報化をどのように受け取っているかを、構文を正確に理解して、明確な日本語に訳すものです。